

取扱説明書

スプリング式 防振架台

このたびは当社「スプリング式 防振架台」(以下製品)をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
お求めの製品を正しく安全にご利用いただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただきますようお願いいたします。

この取扱説明書は、工事完了後保守点検管理ご担当者に必ずお渡しください。
なお、当社製品に関するお取扱上のご質問・ご相談などがございましたら、最寄の
事業所までお問合せください。

※当取扱説明書は、予告なく内容を変更する事がありますので、あらかじめご了承ください。



株式会社 TOZEN

東日本事業所：TEL 050-3538-2091 (代) FAX 050-3538-2094

西日本事業所：TEL 06-6578-0310 (代) FAX 06-6578-0312

URL : <http://www.tozen.co.jp> Email : sales@tc.tozen.com

1 構造

付 属 品

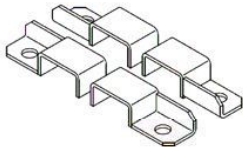


機器取付ボルト M12×4組
基礎ボルト用角座金 M12×4枚

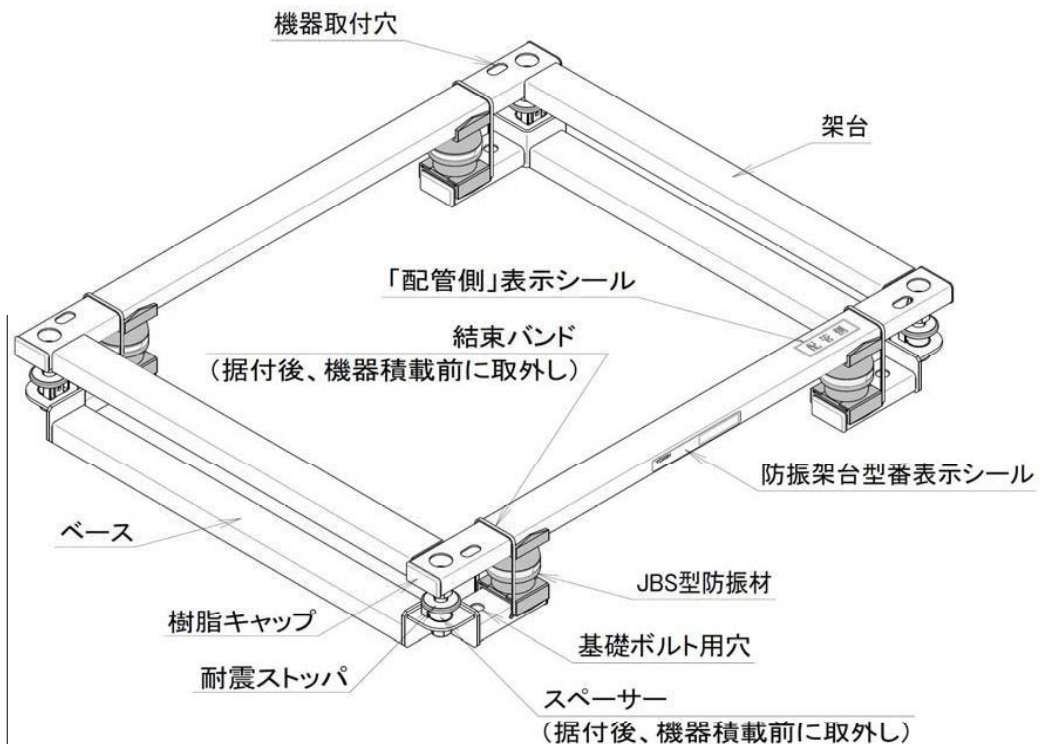
オプション品



ライナープレート
PLL-0310/0315 各10枚入/袋



後打アンカー用補助金具
(4個1組)



1	架台	□-60×30×2.3t・[-60×30×2.3t	溶融亜鉛めっき仕上 (端部樹脂キャップ)
2	防振材	ラバーケース入スプリング	JBS型 (4個)
3	耐震ストッパ	設計用震度 水平2.0G・鉛直1.0G	溶融亜鉛めっき仕上
4	ベース	□-60×30×2.3t・[-60×30×2.3t	溶融亜鉛めっき仕上
5	シール	「配管側」「防振架台型番」「吸振体型式」表示	
付属品		機器取付ボルト一式・基礎ボルト用角ワッシャ (溶融亜鉛めっき仕上)	

2 使用上の注意事項

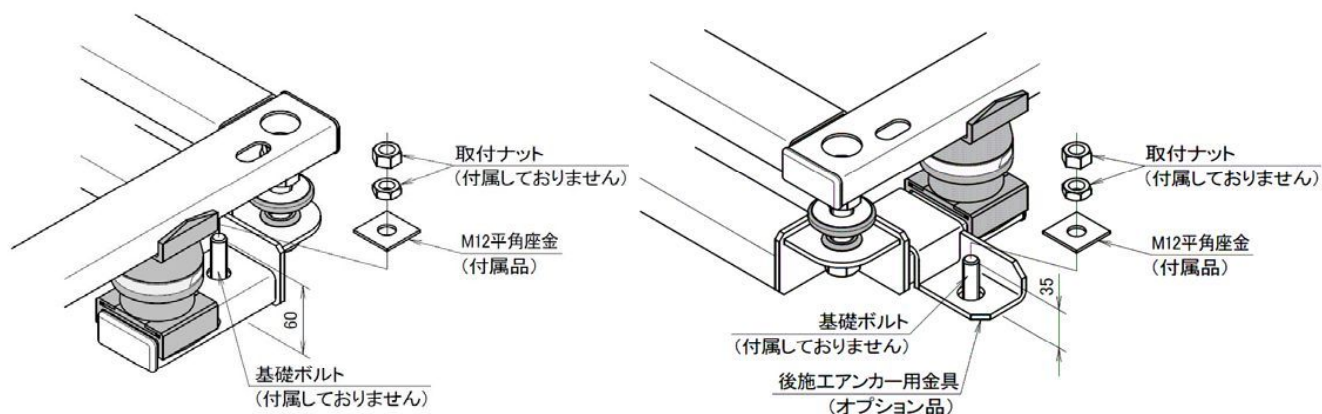
- (1) ご使用前に、付属品および製品に損傷がないかご確認ください。
- (2) 製品を無理に変形させたり、分解しないでください。
- (3) 積載いただく機器と、防振架台型番が正しく合っているか納入仕様書でご確認ください。
- (4) 使用荷重範囲を超えての使用は、製品の損傷による不具合の原因となりますので、機器にフードなどのオプション品を取り付ける場合はご相談ください。
- (5) 油脂・有機溶剤(シンナー・トルエン等)・酸・アルカリなどが付着しないように注意してください。
万一、付着した場合は速やかに拭き取ってください。
- (6) 火気には充分にご注意ください。製品の付近で溶接・切削などの作業を行う場合は、火花がかからないよう、また熱が伝わらないよう、ご配慮ください。

3 保管上の注意事項

- (1) 運搬中・保管中に、製品に損傷を与えないよう充分にご注意ください。また、損傷などがある場合は使用しないでください。
- (2) 長期間保管する場合は、冷暗所に保管し直射日光を避けてください。
- (3) 温度 40℃以上および過度の湿度、水分のある場所に長時間放置しないでください。
- (4) 製品に火気があたらずよう充分にご注意ください。
- (5) 製品を積み重ねたり、物を載せるなど荷重をかけないようご注意ください。
- (6) 製品に油脂・有機溶剤(シンナー・トルエン等)・酸・アルカリなど製品を劣化させるような物質が付着するおそれのある場所に保管しないでください。

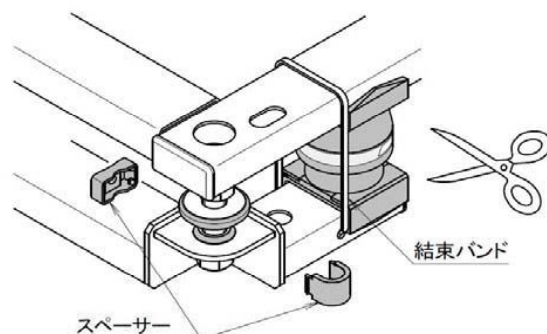
4 施工上の注意事項

- (1) 基礎の施工
 - ・ コンクリート基礎上面は、平滑かつ水平に施工願います。
 - ・ 基礎は原則として全面基礎(ベタ基礎)としてください。
 - ・ 基礎ボルト頭出し長さは基礎上面から 60 mm(オプション金具使用の場合は 35 mm)とし、所定の位置に正確に打設してください。
 - ・ ゲタ基礎の場合は納入仕様書の記載寸法を基に施工してください。この寸法から外れる場合は、鉄骨基礎架台を用いるなどして製品の底面全体が接するようになしてください。
- (2) 防振架台の据付
 - ・ 架台の「配管側」表示で設置向きを確認して基礎に据付けてください。
 - ・ 基礎ボルトはダブルナットにて締結してください。



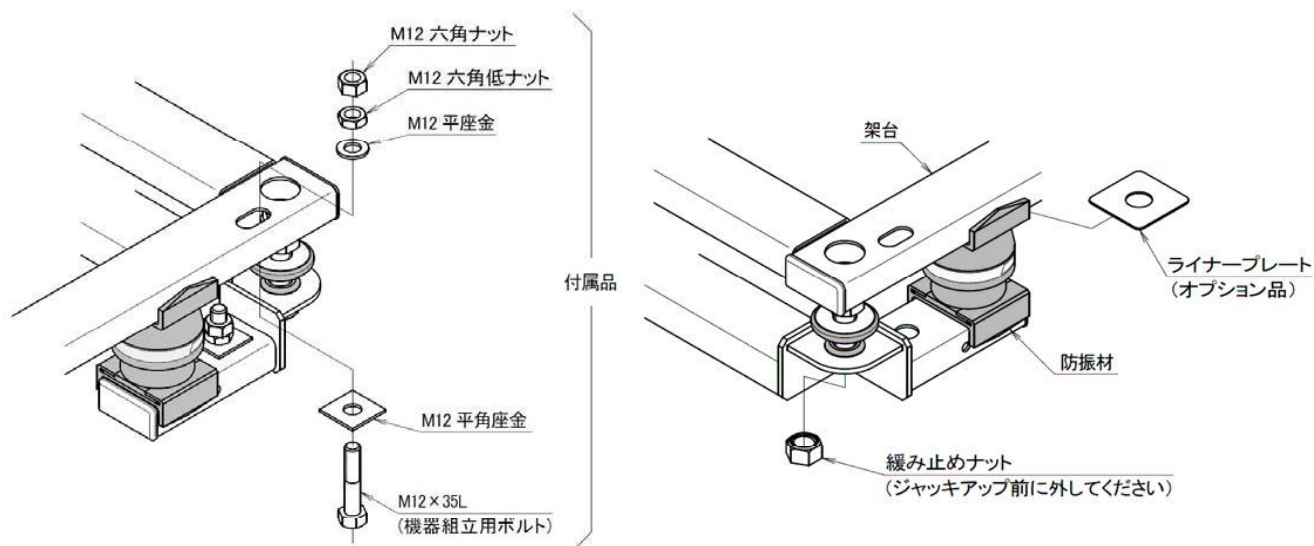
(3) 防振架台仮設材の取外し

- ・ 設置後、機器積載前に結束バンドとスペーサーを外してください。



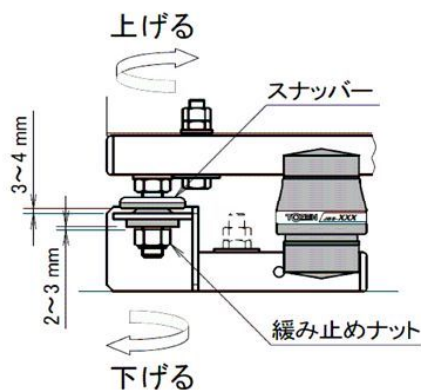
(4) 機器本体の据付

- ・ 架台の「配管側」表示で設置向きを確認し、機器を水平に防振架台へ降ろして設置してください。
- ・ 付属の機器取付ボルトにて防振架台と機器を締結してください。(施工例参照)
- ・ 機器重心に合わせた調整をして出荷しておりますが、万一防振架台が傾いた場合はロックナットを外して架台をジャッキアップし、防振材との間にライナープレート(オプション品)を挟んで水平に調整してください。



(5) 耐震装置の調整

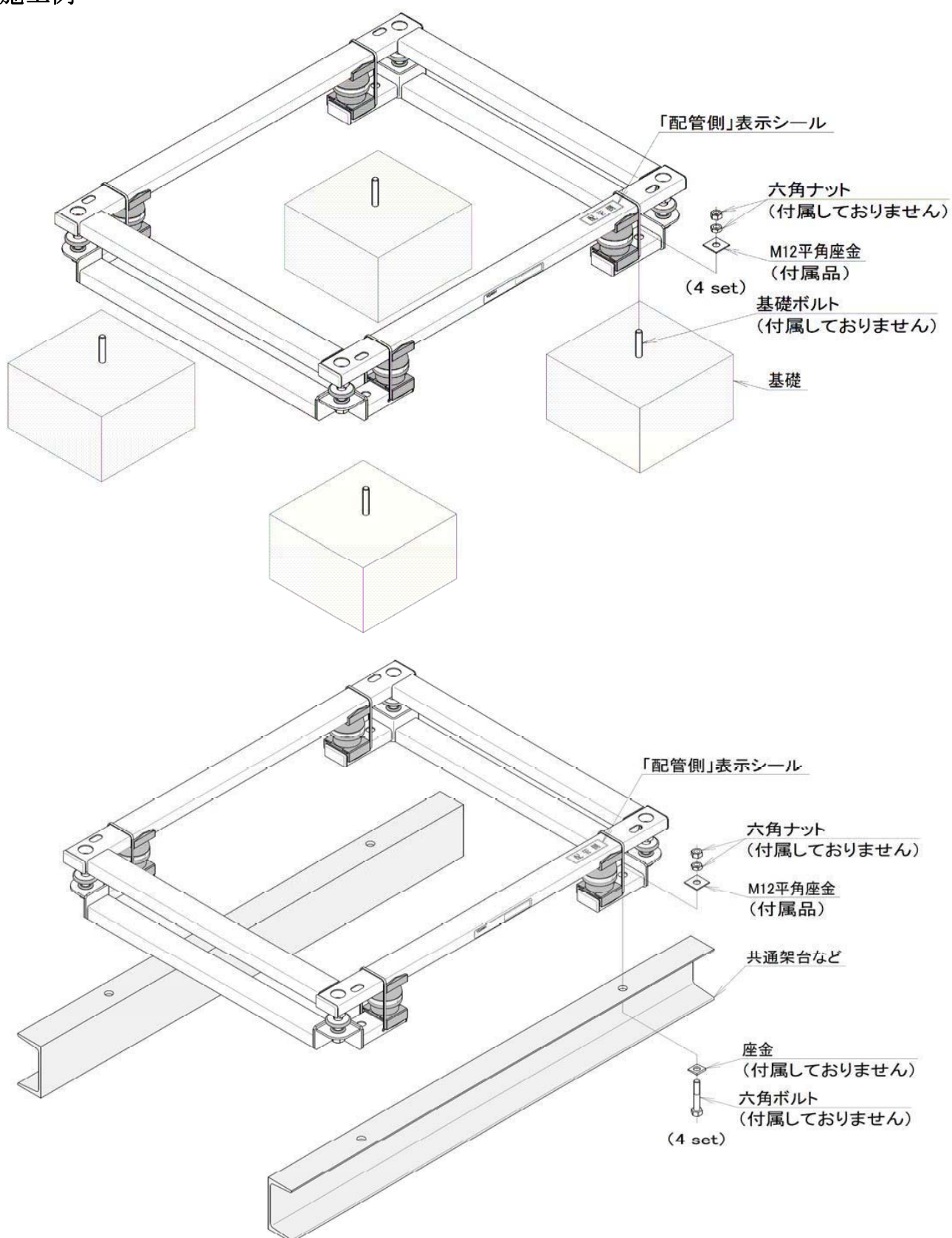
- ・ 据付完了後、耐震装置のスナッパーおよび緩み止めナット位置を図のように調整してください。



(6) 配管工事

- ・ 機器本体と配管の接続には必ずフレキシブル継手を使用してください。また、配管の支持はフレキシブル継手の直近で製品に接触しない位置に設置し、製品に配管重量などがかからないようにしてください。

5 施工例



□ 防振架台据付ボルトは付属しておりませんので、先様にてご手配願います。